

《履修上の留意事項》受講生は教科書を持参して講義に臨むこと。  
 また、マナバを用いて資料を配付する場合もあるので、ダウンロードして予習しておくこと。  
 初回の講義時にオリエンテーションを行うので必ず受講すること。

《担当者名》○坂上哲可 本家寿洋

【概要】

医療人として必要な生命倫理と一般社会における職業倫理について学ぶ。また、職場における管理業務として、経営管理学の視点による管理と、サービスの質を保証し公益性を優先する管理についての知識と実践を学修する。

【学修目標】

一般目標

組織人として、管理運営の基本的な考え方、組織のあり方、組織の目的、組織としての責任について、理解することを目標とする。

行動目標

1. 作業療法部門の管理運営方法の基本を説明できる。
2. 作業療法部門・士の役割・機能について説明できる。
3. 地域貢献の必要性について説明できる。
4. 作業療法部門としての質の確保の必要性について説明できる。
5. 組織構成の基本について説明できる。
6. 職業人としての責任について説明できる。
7. 職業人として必要な倫理、責任について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	日本における医療制度と診療報酬の変遷	日本における医療制度と診療報酬の変遷について学ぶ。	坂上哲可
2	日本の職能組織・専門職組織	日本における作業療法士の組織のこれまでの歩みと、今後の課題について学ぶ。	坂上哲可
3	日本の作業療法士の養成	日本の作業療法士の養成と卒後教育・生涯教育について学ぶ。	坂上哲可
4	職業人としての責任	作業療法士としての社会的責任や作業療法士の普及、技術の維持・向上や後輩の育成について学ぶ。	坂上哲可
5	北海道の職能組織・専門職組織	北海道における作業療法士の組織のこれまでの歩みと、今後の課題について学ぶ。	本家寿洋
6	部門管理と運営	作業療法部門での組織の役割と機能を学ぶ。また、人事管理、財務管理、業務管理等の方法も学ぶ。	本家寿洋
7	職業倫理(1)	守秘義務や安全性の配慮、職種間連携のあり方について学ぶ。	本家寿洋
8	職業倫理(2)	研究倫理について学ぶ。	本家寿洋

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

試験100%で評価する。

【教科書】

杉原素子 編 「作業療法概論 作業療法学全書改訂第3版」 協同医書出版 2017年

【参考書】

岩崎テル子 編 「標準作業療法学 作業療法概論第3版」 医学書院 2016年

【学修の準備】

1. 各回の授業内容および教科書に記載されている演習問題を確認して予習をすること（160分）。
2. 教科書の演習問題やキーワードを必ず復習すること（80分）。
3. 学習課題が可能となるように復習すること（80分）。

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

(DP2)近代医療は"チーム医療"がとても重要です。各医療職の専門性はますます進化していきますので、今後さらに"チーム医療力"が病院・施設などの"臨床力"として特に重要になります。自分の職種と他の職種のそれぞれの役割と専門性をきちんと理解し、患者と家族をチーム医療力でしっかりとサポートできる能力を身につけます。

**【実務経験】**

坂上哲可（作業療法士）

本家寿洋（作業療法士）

**【実務経験を活かした教育内容】**

医療機関での臨床経験や日本作業療法士協会役員経験を活かし、担当の講義を行う。